

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートかや		
○保護者評価実施期間	2025年 11月15日		~ 2025年 12月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		~ 2024年 12月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月のイベント表があり、職員が目的やテーマを持って支援できている。 児童にも一日の流れが把握できるようになっている。	児童が到着すると、始まりの会という活動をしており今日のイベントや活動を視覚的に伝えている。	4月から向け、イベントの充実を図る。 スタッフの強みを生かしたイベントを考えていく。
2	経験年数の長い職員が多くなったため、状況を見て行動できる。	児童の状況により職員が迅速に活動の代替えを提案することが出来るため、活動内容が充実している。 職員同士コミュニケーションを取り、動くことが出来る。	スタッフ間での研修会の実施。
3	保護者からの相談に対して迅速に対応できる。	連絡帳がパソコンでの送信の為、迅速に対応できている。 保護者様の状況に応じて、訪問、面接、電話、手紙などいろんな手段で連絡を出来るようにしている。	スタッフ間でのコミュニケーションを密に取り、その日の情報共有をしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向け研修、きょうだい児イベント等行うことが難しい	日々の支援に加え、イベント等を開催するまでの日数を割くことが困難	保護者様が求めているのであれば、今後検討が必要かと思われる。準備時間をあまり使わない方法で行うことが出来るイベントがないか検討をして行く。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハートかや		公表日		2026年2月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動においてはしっかりスペースを確保できております。 活動内容により、スペースが確保できないと感じた場合、時間差で活動を行いスペースの確保を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	配置数としては人員を満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	階段がありますが、昇降の際はしっかりとルールを決め怪我の無いよう配慮しています。	バリアフリー化は難しいが、安全に活動できるよう出来ることは行っていくように会議を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	環境整備担当がチェックを行い、安全な空間の確保に努めています。 掃除チェック表を作成し、掃除漏れの無いよう清潔に努めております。	担当によるチェック、周知の徹底を確実に行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	2階に学習室、事務室、隔離室を用意しています。必要に応じて利用できるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々、職員間でミーティングを行い、共有・反省・に努めております。	スタッフにより、理解の差があるため定期歴にミーティングを行います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートをもとに、会議を行い業務内容の改善に努めております。その後、改善点がどのように変わったか、さらにミーティングを行っております。	会議の時間を作ることが難しい現状があるため、今後検討していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に2度、職員間の意見交換、事業所内研修を行い、業務改善に努めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	第三者委員は設けておりませんが、チャイルドハート本部の評価を毎年受け、その都度改善に努めております。	第三者委員会の設置を今後どのようにしていくか。法人で検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年に数回の研修に参加しています。Zoom等を利用し、研修の機会を増やすことが出来ています。	業務優先になってしまい、研修に参加することが少ないと感じている。今後どのように時間を確保していくか検討します。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	スタッフ間でアセスメントをしっかりと行い、保護者様に話を聞いて計画にいかしています。	アセスメントの時間を確保することが課題である	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	原案会議には時間をかけております。日々関わっている指導員は担当児童を把握し、最善の療育を全体で考えています。	それぞれの考えで支援がすすんでしまわないように、日々のミーティング時間の確保をしっかりと行っていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	事業所内で個別支援会議を行い、スタッフ間で支援内容の周知・確認を行い支援を行っております。 ・保護者の要望や児童の状況の変化がある際には、迅速に対応させて頂いています。	原案会議後、計画の共有を行っている。 ミーティング時間の確保をしっかりと行っていく。 状況に変化があった場合の共有の仕方を検討。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	適宜確認を行うことができています。 通常のアセスメント用紙では、月々の様子をしっかりと記載し、状況によりその他のアセスメントを利用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	計画を作成する前にしっかりとアセスメントを行い、ねらい、内容を決定しています。		

は 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・運動、学習・トレーニング・余暇支援の計画をミーティング時に打ち合わせを行い実施している。また、保育所等での取組みを並行し、活動の参考にさせて頂いている	個々絵考えたのち、チームで共有するため、個々の意見で動くことも多い。今後、ミーティング等で決定していくことも必要かと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	外出支援、調理、制作、イベント活動(季節行事等)の計画を児童、保護者様のニーズに配慮し計画を行っています。 イベントごとに担当スタッフが決まっており、担当を中心に楽しく活動できるような内容を考えております	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童一人一人の課題、特性を踏まえ、状況に応じ個別支援、集団支援を個別支援計画に取り入れて作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝、ミーティング時に支援内容・役割分担・児童状況報告を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日の終礼の際に支援の振り返りを行い、気づいた点や情報の共有を行っています。 その日に公休で参加出来ない職員には翌日日報を読むことで情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	サービス提供終了後に、支援状況・児童の状況を個別支援計画に沿って記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	計画更新の際、児童の様子によりモニタリングを行い、適した支援であるかの確認を行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	主に、児童発達支援管理責任者が会議に参加しております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	幼稚園、保育園等訪問し話を伺う機会を設けております。	個人情報、感染症対策により受け入れがバラバラの為、連携の仕方を考えていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	園からの依頼、保護者からの依頼、こちらからお願いする等でスタッフが園に様子を見に行ったり、園の先生が様子を見に来られて連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	小学校より依頼があった場合、小学校に訪問したり、来ていただき様子を見てもらい情報の共有を行うなど相互理解に努めております。	小学校により、受け入れがバラバラの為今後検討してまいります。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	必要に応じて連絡をさせていただき、助言を受けることが出来ています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	園からの依頼、保護者からの依頼、こちらからお願いする等でスタッフが園に様子を見に行ったり、園の先生が様子を見に来られて連携を図っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	相談があった場合、直ちに相談支援を行っています。面談・連絡帳・手紙・電話等保護者様の状況に応じて対応しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	講師を招いてのペアレントトレーニングは開催できておりません。	法人にて今後検討いたします。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の際にご説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	計画を作成する前に必ず保護者様と話をする時間を取っています。その際にお子様の様子を伝え、意向の確認を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画を提示し、同意のサインをいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	時期を決めて、面談の時間を作っております。それ以外でも何かあればすぐに対応しております。自宅訪問、電話、手紙、連絡帳などで対応しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に2回保護者会を実施。 1回目は支援参観、2回目は保護者様同士の交流の場を設けております。	きょうだい児の交流に関して、人員配置、安全確保などを話し合い今後検討していなければならない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者様から相談があった際は、面談、助言等をさせて頂いております。 申入れがあった際には迅速に対応をさせて頂いております。	SNS更新が遅れがちの為時間確保必要
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	イベント計画表毎月配布 ホームページ、SNS月2回更新 ニュースレター、月1回配布	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報記載の物は、鍵付きのロッカーにて保管しております。 ・Instagram、活動広報誌には児童の顔写真は伏せて掲載・発送を行っています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・必要な児童に対しては分かりやすいよう絵表示や要求カードの設置を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	感染症対策・個人情報・防犯の観点から行うことが出来ておりません。	今後どのように対策をしながら運営していくか、法人にて検討。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	研修、訓練を行い安全に配慮して支援を行っています。	訓練を実践にいかすことが難しい場合もあるため、何度も県連が必要であるため、その時間の確保が必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	研修、訓練を行い安全に配慮して支援を行っています。	訓練を実践にいかすことが難しい場合もあるため、何度も県連が必要であるため、その時間の確保が必要。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	持病、服薬に関してはアセスメントを取っているが、今後母子手帳などで予防接種の把握を行っていく。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	利用開始前の面談にて、保護者様より食事・体質等の情報を頂き、対応を行っております。研修に参加し、知識を深めています。	今後、医師の指示のよるアレルギー研修を法人により検討していく必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	研修、訓練を行い安全に配慮して支援を行っています。	訓練を実践にいかすことが難しい場合もあるため、何度も県連が必要であるため、その時間の確保が必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に避難場所、計画等お話をさせていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットが起り次第記入し、周知している。小さなことでも積極的に作成するようにしている ヒヤリハットを元に積極的にミーティングを行い、事故につながらないよう対策を取っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に2度「虐待防止研修」参加、伝達講習実施しております	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	現在、身体拘束を必要とする児童はおりませんが、契約の際に、身体拘束廃止の取り組みについて説明を行っています。		